

衿型デザイン一覧

1. レギュラー



2. ショート



6. ボタンダウン



9. ワイドB(水平ゾンタル)



14. ウイング



19. ボットーニBD



35. ワイドE



38. ワイドF

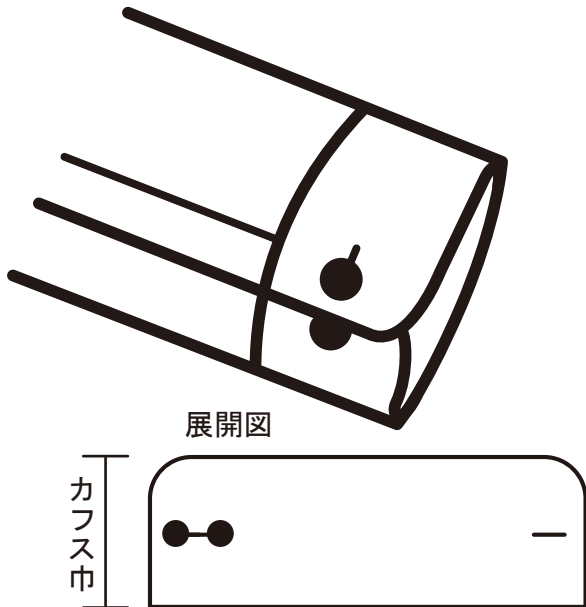


カフス型デザイン

カフスとは袖口の部分のことを指します。カフスは袖口から覗き見え、自分が思う以上に視線を集めます。

目立たない部分かもしれませんが、上級者ほど気を配るポイントです。

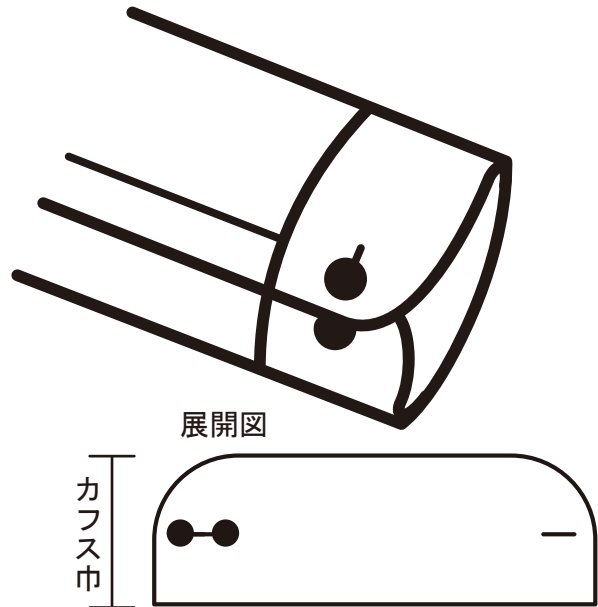
1. 小丸



カフス巾：6.5 cm

カフスの角が小さい丸みを帯びたもの！一般的なカフスのデザインで、オーソドックスでしっかりとした誠実な印象を与えます。

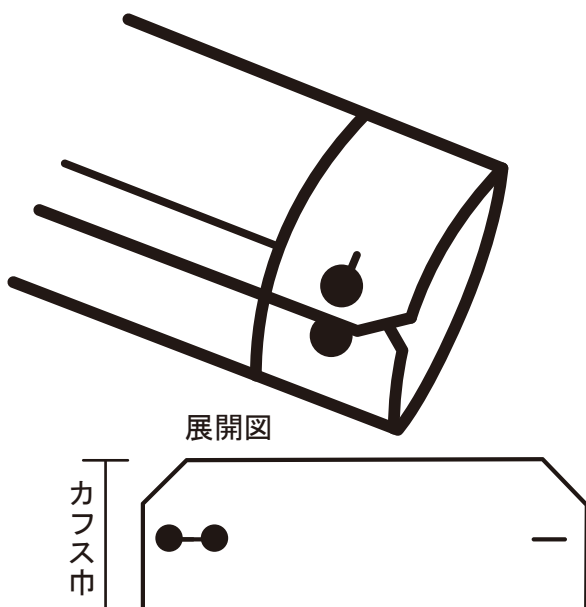
2. 中丸



カフス巾：6.5 cm

カフス小丸よりも、やや丸みの大きなデザイン！丸みを帯びた形がやわらかな印象を与え、どんなシーンにも対応します。

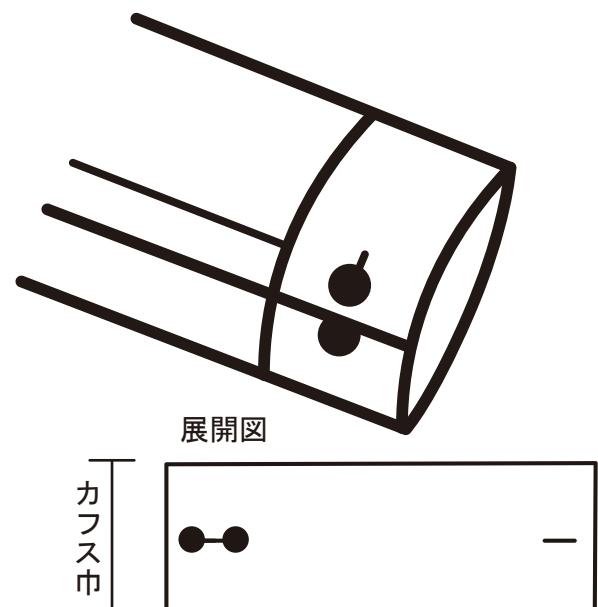
3. 角切



カフス巾：6.5 cm

カフスの角を斜めにカットしたデザイン。シャープな印象の角切は、ビジネスシーンにおいて、かっちりしたイメージを作り出してくれます。

4. 直角



カフス巾：6.5 cm

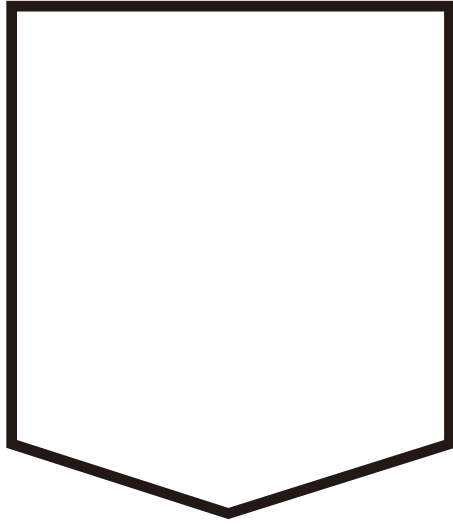
カフスの角を直角にカットした、袖口がくっきり見えるのが特徴。角を落とさないシャープな印象は、真面目さを演出してくれます。

ポケット型デザイン

ポケットもオーダーシャツなら自分の好みのポケットを選べます。

基本的にはカフスの形と同じ型のものを選ばれます。ドレスシャツとしてポケット無しを選択できます。

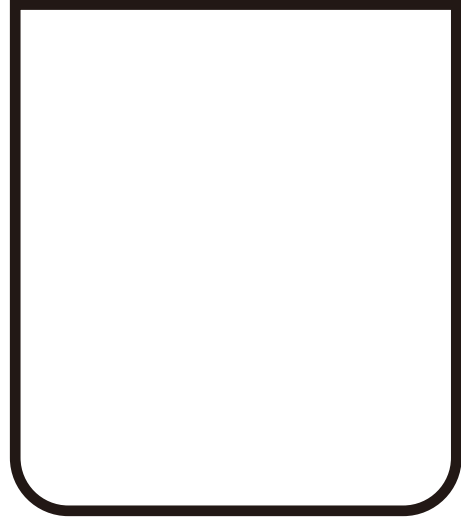
1. 三角



11.5cm × 13cm

ベースの形のすっきりとしたデザイン！

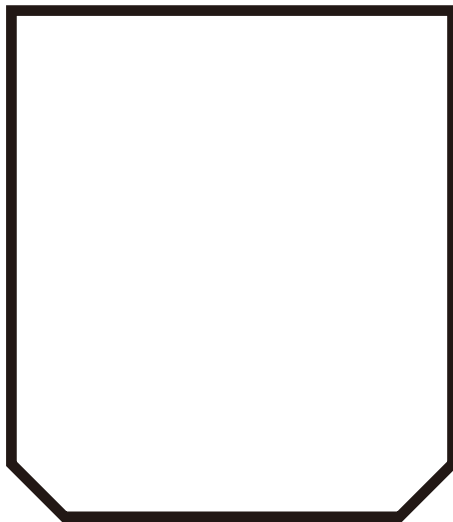
2. 小丸



11.5cm × 13cm

ポケットの角が丸いデザイン。袖口と合わせると統一感が出ます。

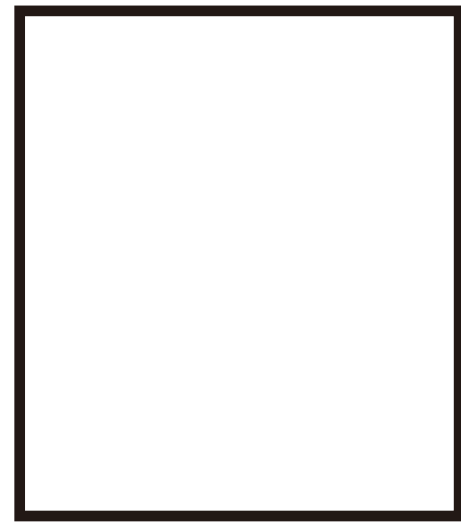
3. 角切



11.5cm × 13cm

ポケットの角をカットしたタイプ。

4. 直角



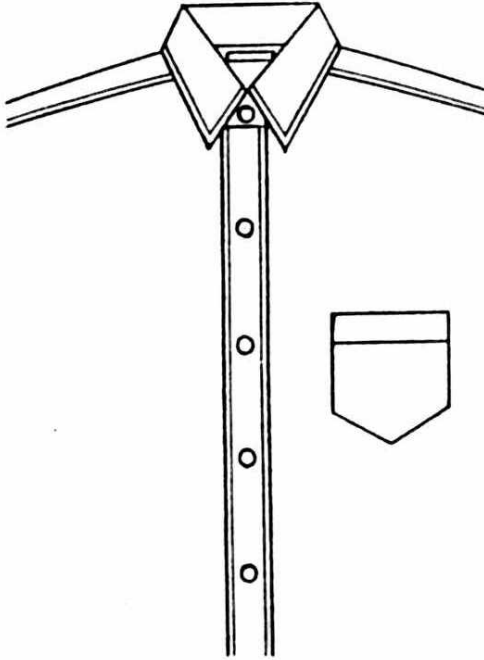
11.5cm × 13cm

ポケットの角を直角にカットしたデザイン。角を落とさないシャープな印象は、真面目さを演出してくれます。

前立てデザイン

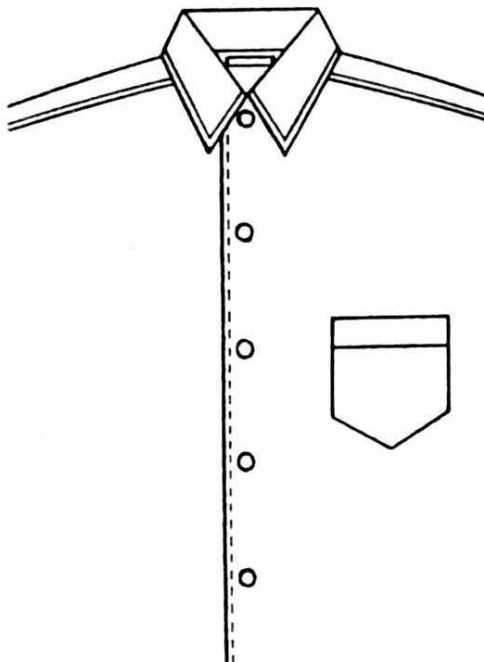
前立てとは、シャツのボタン部分にあるフロントの部分のことで、表前立てが最も一般的で、イタリアやフランスのシャツには裏前立てが多く見られシャツの表情を決める重要なポイントです

1. 表前立て



前身のボタン・ボタンホール箇所、生地が縫われています。別名パネルフロントとも呼ばれ、もっとも標準的なワイシャツのスタイルです。フォーマルからカジュアルまで幅広く用いられるデザインです。

2. 裏前立て

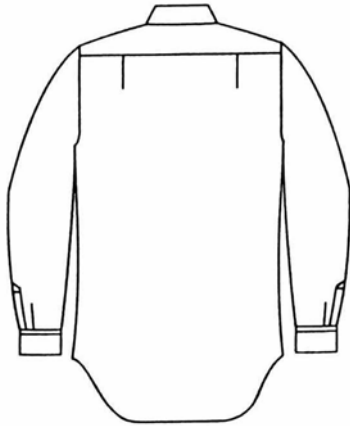


表前立のように生地が別生地が縫われておらず、スッキリとした印象のデザインです。フレンチフロントとも呼ばれ、フォーマルシャツやドレスシーなシャツに用いられることが多い。

バックデザイン

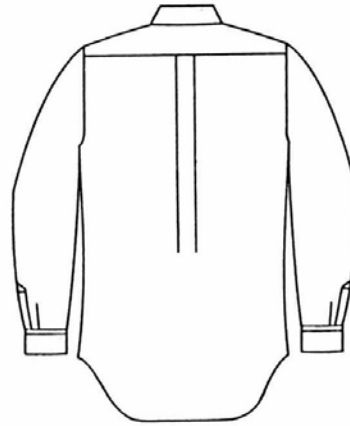
ゆとりを大きくとった場合などはサイドに、ボタンダウンなどでは箱ヒダに、またスッキリと見せるため何も入れないノータックにしたりなど、シャツのシルエットを決定付ける最後のポイントです！

1. サイド



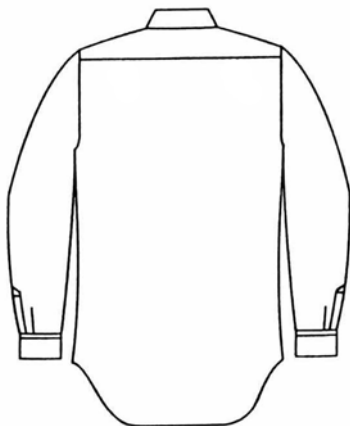
レギュラーカラーやワイドカラーといった衿型のシャツに使用されることが多く、サイドにタックが付いているため腕を前に出した時に動かしやすい効果が期待できます

2. 箱ヒダ



ボタンダウンなどに使われるデザイン。背中のゆるみをセンターでとったデザイン。

3. ノータック



ベースの形のすっきりとしたデザイン！ご自宅でアイロンがけをする方には特にオススメ！

フェールムラカミ ネーム刺繍字体

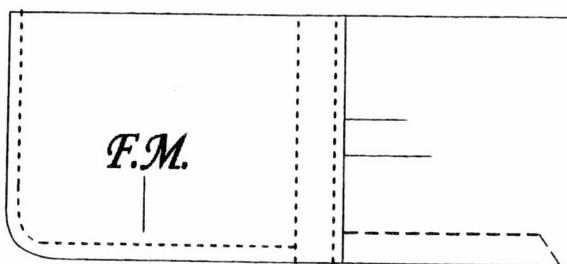


フェールムラカミ ネーム刺繍 色

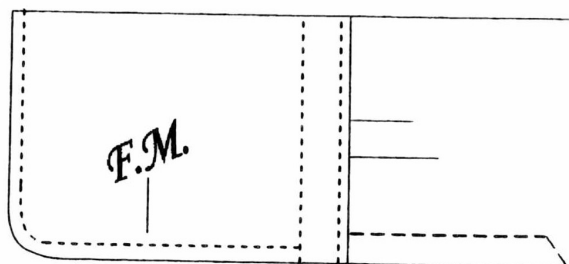


フェールムラカミ ネーム刺しゅう位置

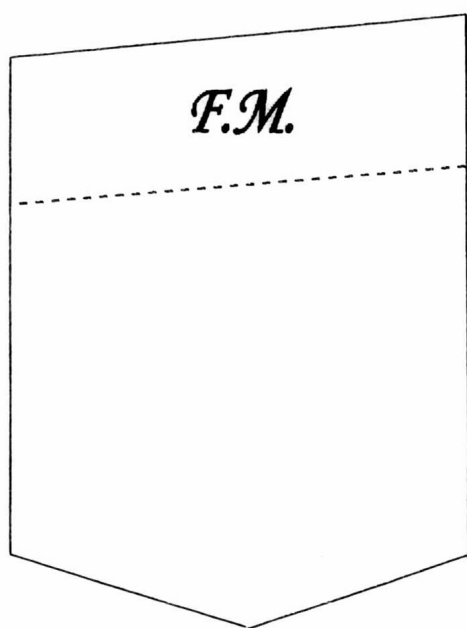
左カフス①



左カフスナナメ③



ポケットヨーク



左袖

